



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

N o . 2 9 1

* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

(問) こうの史代^{ふみよ}さんの漫画^{まんが}『夕凧^{ゆうなづ}の街桜^{げい}の国』の冒頭^{ぼうとう}で、主人公が「おとみさん」という名前が出てくる歌を口ずさんでいる。この歌詞と歌手の名前を知りたい。

(答) 昭和館図書室の書棚^{しょだな}には、調べものに役立つ参考図書、辞典、事典類もあります。まずは閲覧室^{えつらんしつ}の16番の書棚から関連する事典^{じてん}を探してみましょ。

『夕凧の街桜の国』では、昭和30年(1955)に主人公の皆実^{みなみ}が「おとみさん」という名前が出てくる歌を口ずさんでいます。

戦後に発表された昭和期の歌謡曲^{かようきょく}は次の索引^{さくいん}をもとに曲名や歌手を確認できます。

『昭和歌謡全曲名(戦後編)』(767/Mu46/2 開架参考 060003414)

続けて各レコード会社から発売された楽曲を収録した事典『昭和流行歌総覧(戦後編)』(767/Sh97 開架参考 060001699)を引くと、曲名は「お富さん」、歌手は春日八郎^{かすがはちろう}とわかりました。

また、昭和29年(1954)と昭和35年(1960)にキングレコードから発売されたとわかります。

さらに、図書室内の検索端末^{たんまつ}で歌詞^{けいさ}が掲載された図書を探してみましょ。

図書 ⇒ ことばから探す ⇒ お富さん 歌詞 ⇒ 5件ヒット

『日本の流行歌史大系歌詞総録 キング編』(767/N71 カウンター書架 000047021)

こちらの図書の巻末の索引で「お富さん」のタイトルを引きます。

歌詞は一番から四番まで掲載されています。

昭和館の5階 映像・音響室^{おんきょうしつ}では、「お富さん」を始め所蔵するSPレコードの音源を公開しています。ご利用については同室のカウンターでご相談ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。





戦争中の夏休みについて



昭和 20 年（1945）8 月 15 日から今年で 80 年となりました。「戦後 80 年」の節目となる今年は、戦争や戦時中の暮らしについて関心を持ち学んでいる人も多いのではないのでしょうか。夏休みの宿題や自由研究で取り組んでいる人もいるかもしれません。今回は、戦争中の夏休み、小中学生世代の子どもたちがどのように過ごしていたかを調べてみました。



昭和 16 年（1941）12 月 8 日太平洋戦争が開戦

昭和 12 年（1937）に始まった日中戦争が長引く中で、今度はアメリカやイギリスなどとの戦争に突入しました。開戦後の『少年倶楽部』昭和 18 年 8 月号を見てみると「僕は、こんどの夏休みをどうおくるか」という見出しで、夏休みの心得が次のように書かれています。「第一に体だ。弱い体は強く、強い体は一そう強くたえよう。それからできない学科は、この休みの間に勇敢にとっくんで征服しておこう。慰問、おてつだい、勤労奉仕、食糧増産、僕らにできることは何でも汗を流して働こう」。ここに「慰問」や「勤労奉仕」、「食糧増産」という言葉が出てきましたが、子どもたちの生活にも戦争が影響していたことを感じ取ることができます。



昭和 19 年（1941）都市部の子どもたちの疎開が始まる

戦局の悪化にともない空襲の危機が次第に迫ってくると、政府は学童疎開促進要綱を決定。8 月から都市部の国民学校 3 年生以上 6 年生までの児童たちが集団疎開を始めました。家族と離れての生活で掃除や洗濯を自分たちで行っていたほか、農家のお手伝いや薪拾いなどもしていました。『8 月 15 日の子どもたち』には、「行くときは皆遠足のような気分で出かけたが、その晩より家が恋しく、夜になると泣いた。」「集団疎開で食べものも喰えず、夜イモ畑を荒らしに行った。」など疎開した児童の思い出が書かれています。

一方、中学生以上の生徒たちは学徒勤労動員で、農地や土木現場、戦闘機の工場などで働いていました。当時女学生で 14 才だった随筆家の青木玉さんも「昭和 19 年の夏休み、学徒動員により立川飛行場へ、同級の友達と配属されることになった」そうです。



昭和 20 年（1945）終戦の夏

この年の 4 月 1 日からは、国民学校初等科を除くすべての学校で授業が一年間停止されることになりました。児童書『消えた夏休み』は、昭和 20 年 3 月に国民学校を卒業して 4 月から女学校 1 年生になったばかりの實在の女の子の物語です。広島に住んでいて、夏休みを楽しみにしていましたが休みはなくなり、学徒動員で建物疎開で壊した後の片付け作業に毎日出かけていました。そして 8 月 6 日をむかえます。

地域や年齢によってそれぞれの体験談があります。ぜひ図書室で読んでみてください。

【参考文献】

『少女たちの戦争』中央公論新社 編 916/C66 開架一般 000068067

『8 月 15 日の子どもたち』あの日を記録する会 編者 916/A49 開架一般 000020236

『消えた夏休み』富家知道 著者 ウインかもがわ 913/To52 開架児童書 000047677

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 291

2025 年 8 月 20 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1